

# 道徳学習指導略案

第6学年1組 合計 24名

1. 主題名 「誠実に生きる」 A 正直、誠実

2. 教材名 「手品師」 (日本文教出版)

3. ねらい

自分の心に誠実に生きることのよさに気づき、前向きに生活しようとする態度を育てる。

4. 本時の展開

	学習活動 (○主な発問◎主発問・予想される児童の反応)	●指導上の留意点 ◇評価
導入	<p>1. 本時の内容について確認する。</p> <p>○誠実とはどういうことですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正直にする</li> <li>・相手のいやなことをしない。</li> </ul> <p>○誠実に生きることって大切？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大切</li> <li>・迷惑をかけなければ別に誠実じゃなくてもいい。</li> </ul>	<p>●言葉の意味を押さえ、何について考えていくのか見通しをもたせる。</p>
展開前段	<p>2. 教材文を聞き、話し合う。</p> <p>◎大劇場に行くか、男の子の前でやるか悩んだ手品師はどんな考えだったでしょう。</p> <p>①大劇場に行く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の夢を叶えるために仕方ない。</li> <li>・男の子も分かってくれるだろう。</li> <li>・暮らしを楽しみたい。</li> <li>・憧れの舞台だ。 ・うれしい。 ・男の子に申し訳ない。</li> </ul> <p>②男の子の前</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約束は守らないと。 ・大劇場に行けなくて残念。</li> <li>・男の子だって大事なお客様。</li> <li>・こうなったら全力で楽しませるぞ。</li> <li>・男の子は絶対待っている。</li> </ul> <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男の子に置き手紙をして大劇場に行く。</li> <li>・男の子を探し出して事情を説明する。</li> </ul> <p>○一人のお客様の前で手品を演じていたとき、どんなことを思っていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すがすがしい気持ち。</li> <li>・大劇場ではないけれど、笑顔が見られてよかった。</li> <li>・ちょっと残念だけど、自分で決めたから悔いはない。</li> </ul>	<p>●①②の選択肢と理由以外に、その他の意見や考え方も出させ、同じ意見でもいろいろな考え方があることに気付けるようにする。</p> <p>●なぜすっきりした気持ちになれたのか、追質問する。(何が大劇場に行かない決断をさせたのか。)</p>
展開後段	<p>○自分の心に誠実に行動できたことはありますか。(できなくて、後悔してしまったことはありますか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と遊ぶ約束をしていて、別の友達がお菓子をあげるから遊ぼうと言われたけど、最初の約束を守った。</li> <li>・混んでいたときに抜かさずに並んだ。</li> </ul>	<p>●誠実にできたことがない場合には、できなかったことを振り返るようにする。また、そのときの気持ちについても振り返る。</p> <p>●友達と意見交流し、友達の意見を聞いてどう考えたか振り返る。</p> <p>◇自分の心に誠実に生きることのよさに気づき、前向きに生活することについて考えを深めている。(ムーブノート、発言)</p>
終末	<p>3. 教師の説話を聞く。</p>	<p>●夏目漱石の言葉「自分に誠実でないものは、決して他人に誠実であり得ない。」を紹介する。</p>